

# 自然エネルギーネットまつもと通信



# 002

2013年3月31日発行 第2号



## 地域にあるものを活かす暮らし

未来の子どもたちから「借りている地球や地域」を、  
良いかたちで返すため、自然豊かなこの地らしい  
エネルギーの地産地消をめざしてー。

### 「電気に頼らず、必要なものを自分で作る」心豊かな暮らしへ

～ 非電化工房・藤村さんのお話に、150人が聞き入りました～

はじめての市民フォーラム

自然エネルギーネットまつもと市民フォーラム2013 ●2月3日(日)13:00~16:00 ●えんぱーく(塩尻市市民交流センター)  
第1部【講演会】◎講師：藤村靖之さん(非電化工房代表) ◎演題：非電化思考のすすめ  
第2部【ちょっと、みんなで座談会】◎テーマ：小さなことから始めよう！◎パネリスト：原薫さん、和田英三さん、樋口有紀さん



### 「お金」=「幸せ」だと思いませんか？

第1部の藤村さんからは「非電化的暮らし、自分で必要なものを作り出す暮らし」の提案がありました。

現代社会で気づかずに植えつけられていく「お金=幸せ」という尺度。お金のために忙殺されて働く毎日が、本当に幸せなのか？自分が暮らす分の糧を、自分で作り、愉しく暮らす…それが、今求められている幸せなのではないか。超資本主義のグローバルな世の中で、溺れそうな生活を考え直してもいい時代ではないか。印象的で核心をつく言葉が、心に響いた時間でした。

### 「何かできそう」「何かはじめたい」

第2部は松本地域で実践活動をしている3人と藤村さん、会場のみなさんも参加してのパネルディスカッション。樋口さんの巧みなコーディネートで会場は笑顔が溢れ、一体



に、とても盛り上がりました！

いざというときに地域や家族を守るのはその「その地域にあるものを活かす」として知恵」だということを考えさせてくれた講演会と座談会でした。

脇につくった「子どもコーナー」で、子どもたちが遊び、眠るほほえましい雰囲気の中で、若いパパ、ママが真剣に聞き、考える姿に勇気をいただきました。

ここで知り合い、刺激し合って、次の行動が生まれる…。終了後の自発的な記念撮影に、そんな予感が膨らみました。来年度もこのような会を企画したいとスタッフ一同、今からはりきっています。



エネットまつもと通信

# action

Think together and action

2013年3月31日発行

自然エネルギーネットまつもと  
Renewable Energy Net Matsumoto

※エネットまつもと＝  
自然エネルギーネットまつもとの通称

## 01 WG 現在のワーキンググループ&プロジェクトチーム情報

WG=ワーキンググループ PJ-T=プロジェクトチーム

### ●太陽光 WG

独立系太陽光発電システムの普及・事業プラン、またそれに関わるワークショップやイベントの開催を検討中。2月15日、手塚 翼さん宅「ソーラー王国」を見学訪問↓



### ●木質バイオマス WG

「恵まれた森林資源を有効に活用して、循環型の社会を築いていきたい」という思いから集まったメンバーは、それぞれ地域に根ざした特色のある活動や考えを持った方々です。月1回くらいのペースで勉強会を実施中。

### ●賦存量 WG

2012年度の成果・反省をもとに今後の活動を検討中。

### ●地中熱利用WG【地恵の水】

松本市内で進行中の地中熱実証事業の結果報告をもとに2013年度の活動計画を策定予定。

### ●市民講座 PJ-T

2013年度は、月1回のペースで開催してきた「学習会」を中心に、もっと多くのおみなさんと意見交換等ができる場と機会を提供できるチームを目指します。

### ●ホームページ&パンフ PJ-T

2013年度もホームページの更新、自然エネルギーネットまつもと通信「action」の発行活動を予定。

### ●フォーラム PJ-T

2013年度は大きなフォーラムイベントの開催の他に、定期的に会員や市民のおみなさんが集まって意見交換ができる機会や場を提供する活動を計画中。

2013年度は各グループとも新しい方針と計画で再出発します。新しい情報はホームページやフェイスブックの最新情報に掲載予定です。

### あなたも新しいWGを作りませんか。

ワーキンググループは、手を挙げて、声を上げればいつでもつくれます。仲間を集めて action を起こしませんか。自分の想いをみんなに伝えるきっかけづくりになると思います。

## 02 News 2013年度・通常総会開催決定 5月12日(日) 13:30～16:30 松本市南部公民館・大会議室

2013年3月31日現在、会員数は70人。個人登録制です。会員のおみなさんは、自然エネルギー関連の事業をされている方もいらっしゃいますが、多くの方は一般の市民の方々です。松本地域をはじめ、伊那、長野、諏訪からも参加されています。

### 入会の方法

ホームページの入会申込書(Word)を入力してください。

### ●年会費 2,000円 (入会金はありません)

必要事項を入力(記入)後  
①電子メールで送付、または  
②プリントアウトしてFAXにて送付、あわせて指定口座に会費を入金してください。

入会後は、メールで情報をお届けします。各種会議・イベント・学習会へ自由に参加いただけます。

## 03 Event

### 最近はこのイベントがありました

#### ●2月17日(日)第3回の市民講座を無料で開催、「砂防ダムと小水力発電」「バイオマス(生物資源)」について学びました

2月17日(日)、安曇野市豊科交流学習センター「きぼう」で第3回目の市民講座を開催。会場には約25名の方々が来場されました。講師は溪流保護ネットワーク・砂防



ダムを考える会代表の田口康夫さんと長野県地球温暖化防止活動推進員の佐藤嘉一さん。目から鱗の貴重なお話しが伺えました。

#### ●市民講座 PJ-T 主催の1月、2月の学習会テーマは省エネルギー

アイデアと行動力の省エネルギーって結構楽しいですね。

#### ●第6回・学習会

1月28日(月) 19:00～20:20  
松本市市民活動サポートセンター会議室  
◎手づくり省エネルギー事例の話(宮澤 信)

#### ●第7回・学習会

2月28日(木) 19:00～20:20  
松本市市民活動サポートセンター会議室  
◎太陽熱利用(田口康夫・三輪 浩)



#### ●賦存量調査 WG が県政出前講座を開催

3月19日(火) 19:00～21:00、松本市市民活動サポートセンター会議室で県政出前講座「自然エネルギー推進の現状と課題」を開催。参加者からは多数の質問も投げかけられました。



## Voice

### 会員さんからちょっと一言! #1 平島安人さん

(自然エネルギーネットまつもと代表)

エネットまつもと発足から1年が過ぎ、会員数は70名になりました。この集まりに何らかの可能性を感じたからこそ、これだけ多くの人が参加したのでしょうか。

では、エネットまつもとの魅力は何でしょう?それは、さまざまな人が集まっていることだと思います。実践にもとづく経験や技能、専門的知識を持った人がいます。そして大切なのは「何かしたい」「もっと学びたい、知りたい、語りたい」という人たちの存在。この多様な会員により、「これ、知らない?」「ああ、

それはね…」、学びと実践のつながりが生まれつつあります。

会員に共通するのは、持続可能な社会を追求し、未来への責任を果たしたいという想い。1年間の取り組みで活動基盤も整ってきました。楽しみと語り合いを大切に、活動を進めたいと思います。



私たちといっしょに「考え」「学び」そして「行動」しませんか。2013年度会員募集中です。